

# 報告書（社会貢献活動）

## JBC CARES（JBC ケアズ） 沖縄大会

日時：令和8年2月22日（日）

11:00 開会式

- ・パラ車いすボクシング、義足ボクサーミット打ち及びマスボクシング、体験ミット打ち
- ・キッズシャドー、小学生・中学生スパーリング、マスターズスパーリング

場所：沖縄県中頭郡中城村安里 中城村民体育館

JBC 試合役員：JBC 理事長 萩原実、小池、古田、岩崎、當山、大谷、棚町

参加人数：40名

### 【詳細】

那覇空港から車で1時間弱、沖縄の中部に位置する人口約 21,200 名の中城村の中城村民体育館において初開催となった。

沖縄県は元来数多くの世界チャンピオンや日本チャンピオンを輩出するボクシング熱の高い地域である。開催にあたり中城村村長から御礼のお言葉を頂きたいへん光栄であった。

ボクシングを通じて地方活性化の一助になり社会貢献できていることは、JBC CARES（JBC ケアズ）の本懐である。

開会式では萩原実 JBC 理事長の挨拶から幕が上がり、まずはパラボクシングとして車イスボクシングによるミット打ち体験を行った。参加者はみな初めての体験に目を輝かせて生き生きとミットを打っていた。次に義足のボクサーである前川選手のミット打ち及びマスボクシングの試合では俊敏な動きに会場から感嘆のどよめきが生じていた。日頃からのトレーニングを重視しての大会参加であった。

後半の部では、キッズのシャドーボクシングから始まり、一生懸命で可愛らしいフットワークやパンチに自然と拍手が起きていた。小学生・中学生によるスパーリングと引退した元日本ランカーや A 級ボクサーによる現役を彷彿とさせるマスターズのスパーリング対戦に会場は大いに盛り上がった様子であった。

最後に、この大会を開催するにあたり、ご尽力頂いた全ての関係者の皆様に感謝申し上げます。



